

第2部

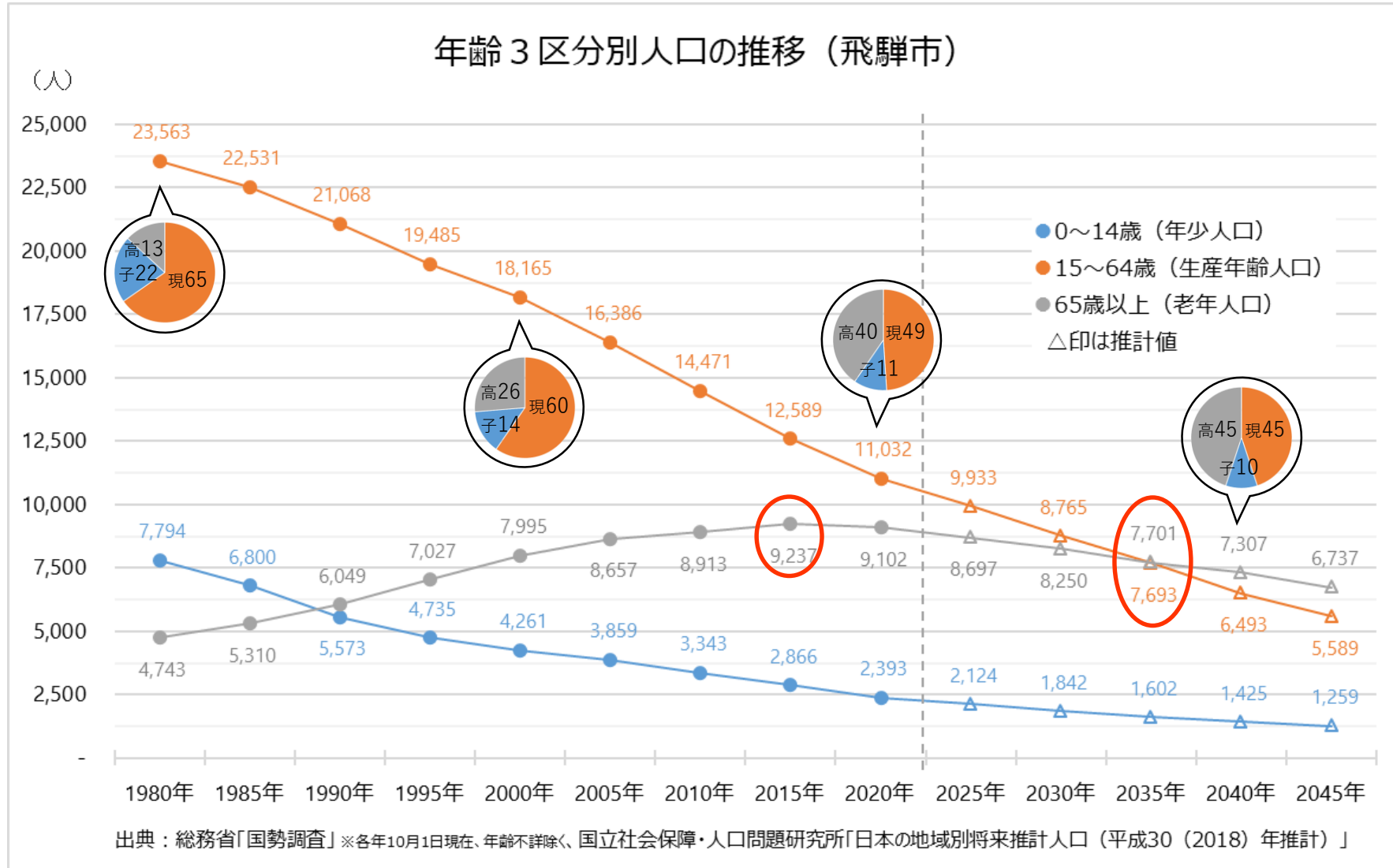
ふれあい トーク



InteractionTalk

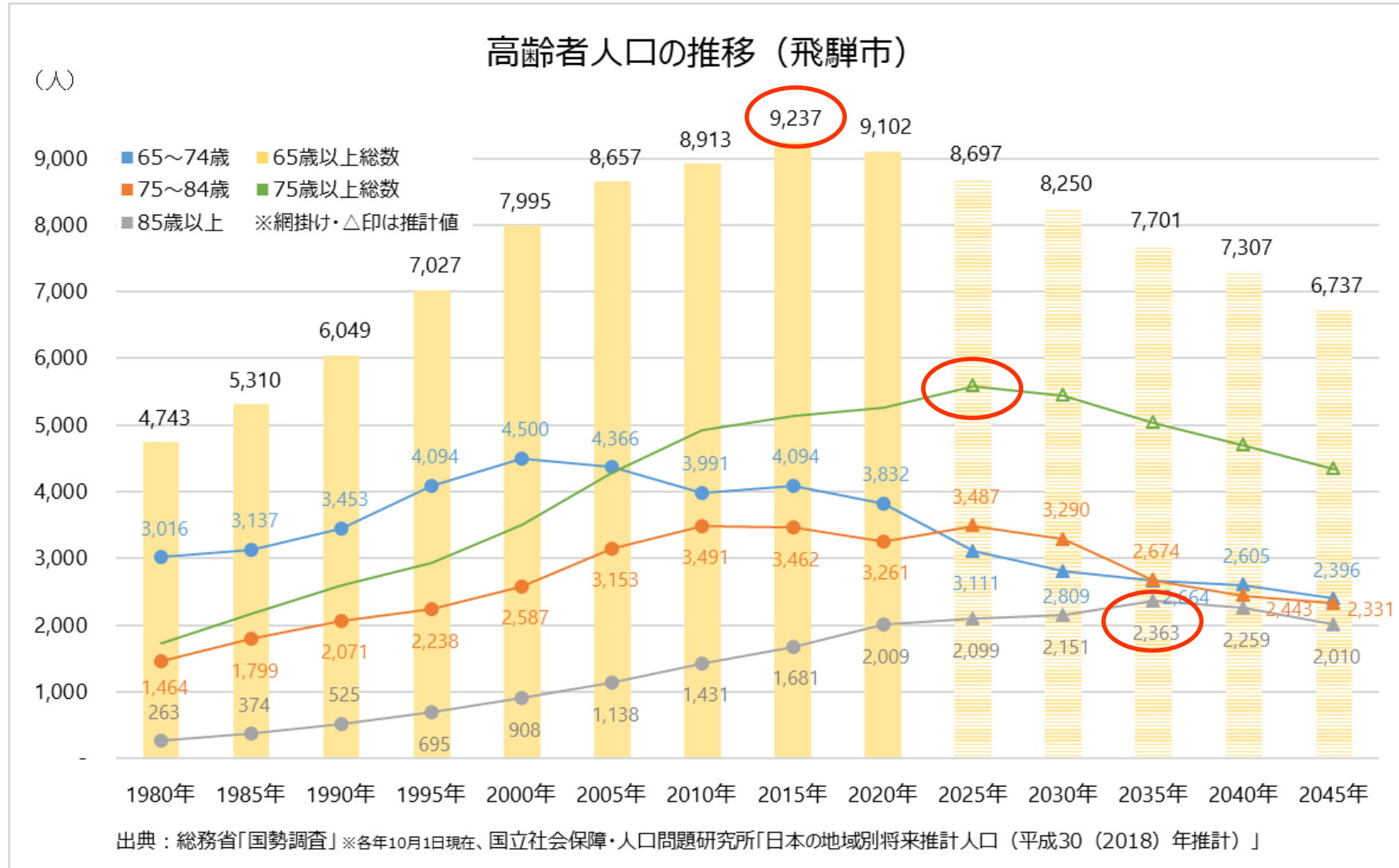
在宅医療

飛驒市の人口



現役世代の人口減少が大きく進行し、2035年には高齢者と逆転。一方、高齢者の総数は2015年をピークにすでに減少局面にある。

飛騨市の人口



**65歳以上の高齢者総数は2015年にピークアウト。
75歳以上は2025年頃、85歳以上は2035年頃にピークを迎える。**

飛騨市の人口

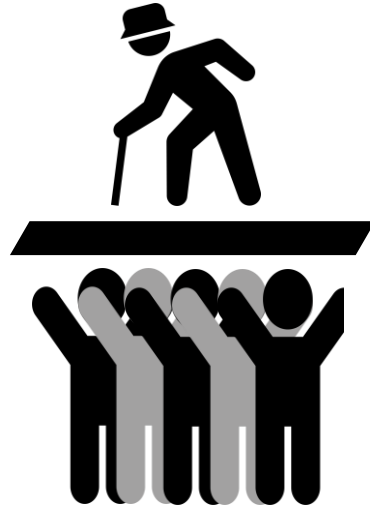
健康な
まちづくり

75歳以上

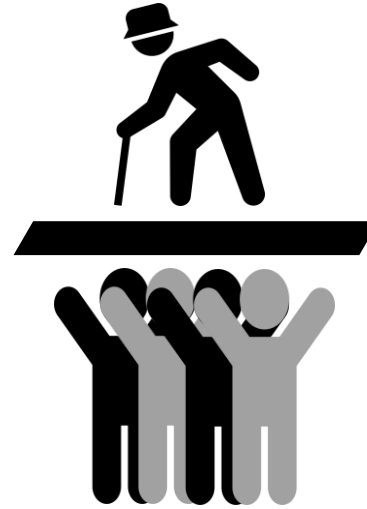
支えあい
社会づくり

15歳～74歳

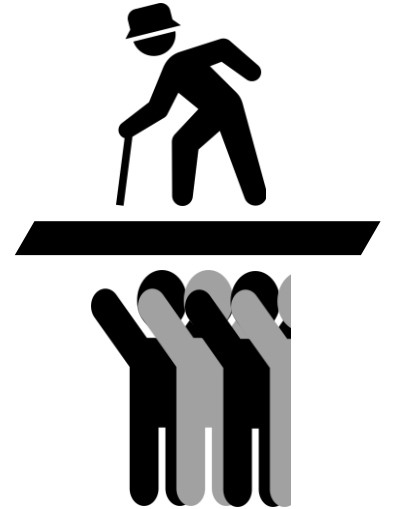
2015年



2025年



2040年



75歳以上1人に対する
15～74歳の人数

岐阜県 4.9人

飛騨市 2.8人

4.0人

2.4人

3.4人

1.9人

うち15～64歳が1.4人

分子を軽く、分母を維持

分母の最大化を図る

医療提供体制の確保

共助

社会保険制度
～国民みんなで支えあう～

分母

支えあい
社会づくり

医療サービスの提供



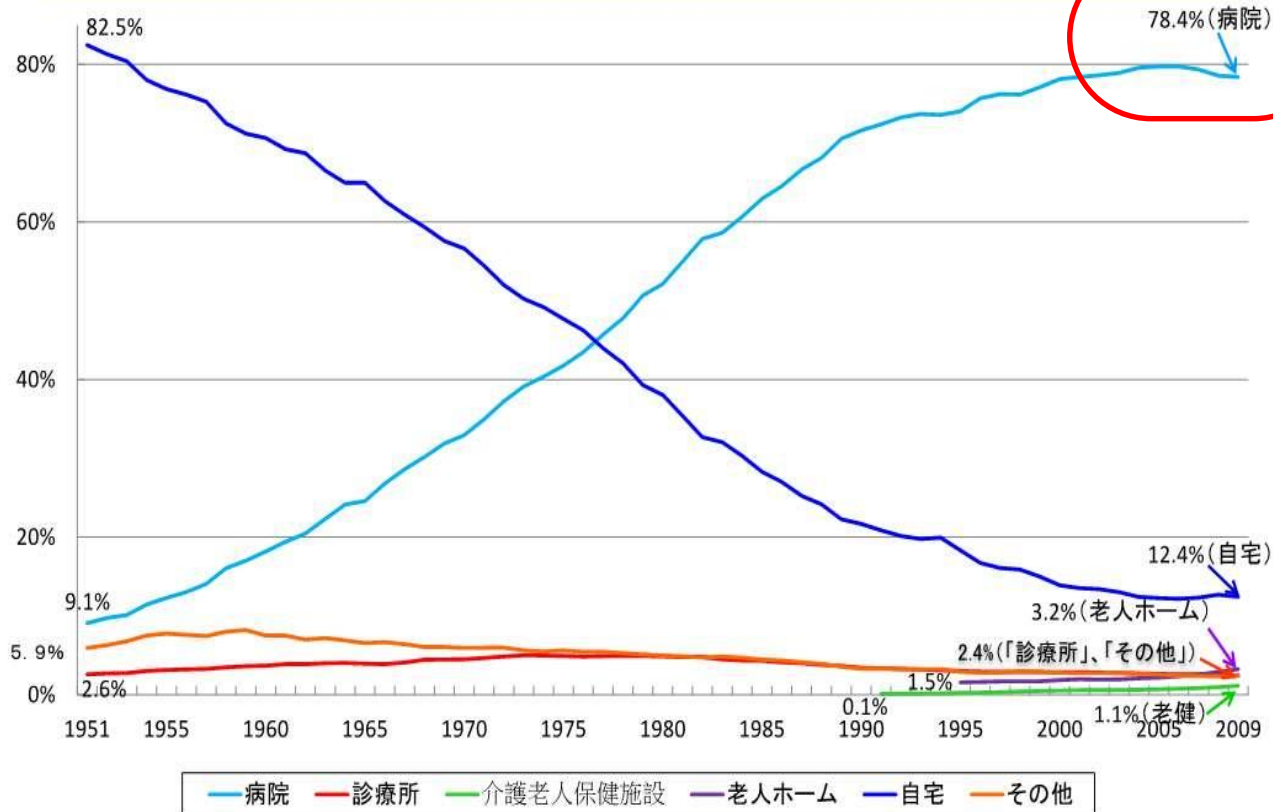
介護サービスの提供

高齢者支援
障害者支援
児童福祉
介護対応
多岐支援制度

多死社会における医療資源の充実

死亡場所の推移

〇20世紀半ばには自宅で死亡する者が8割超であったが、現在では8割近くの者が病院で死亡している。



超高齢社会により死亡者数が増加

8割近くが病院で亡くなっている

病院、施設だけでは不足

在宅医療・在宅看取り体制
の強化

在宅医療の体制づくり

- 複数医療機関による「在宅支援連携体制」を構築
- 複数医師で負担を分散しながら訪問診療・看取りを行う体制づくり

3つのポイント

- ① 訪問診療を行うかかりつけ医
- ② 24時間対応の訪問看護
- ③ いつでも入院できる地域の病院

地域包括ケア病床の充実

飛騨市民病院では、地域の実情に応じた病床への転換を図りました。

地域包括ケア病床

- ◆ **在宅復帰支援のための病床**
- ◆ 急性期治療後の患者を対象に、多職種が連携し、在宅復帰に向けた経過観察・退院支援、積極的なりハビリなどを実施。

H30.04

病床数	91床
● 一般	46床
● 地域包括ケア	12床
● 療養	33床



R00.00

病床数	89床
● 一般	42床
● 地域包括ケア	20床
● 療養	27床